

# 2025年3月期 通期業績予想の修正についての説明資料

---

Kudan株式会社（東証グロース：4425）  
2025年3月12日

## ■ 業績予想の修正

	修正前	修正後	[百万円]
売上高	700	500 ~	550
売上原価・販管費	1,130	1,350 ~	1,370
営業利益	-430	-850 ~	-820
(参考) 調整後営業利益 <sup>1</sup>	-350	-800 ~	-770

## ■ 事業の状況

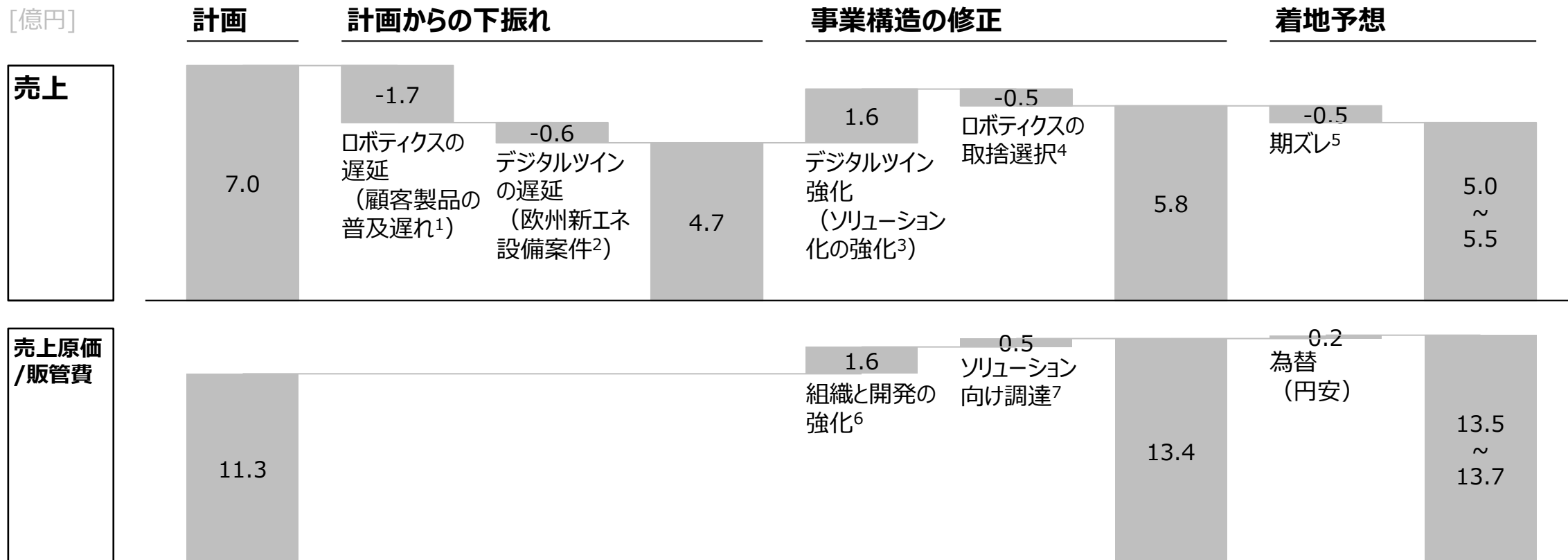
- 製品化数（8件）と製品関連売上（2.7~3億円）は期首想定通りに着地見込み
- ロボティクスの顧客製品普及が想定より長引き、製品ライセンスとソリューション化で売上遅れ（-1.7億）、さらにデジタルツインも欧州新工機設備向けソリューションで売上遅れ（-0.6億円）
- 対応して、短期成長する領域に案件注力し赤字縮小を急ぐ
  - デジタルツインのソリューション化のテコ入れ、ロボティクスの有人補助の強化を実施し売上を挽回（+1.6億円）
  - 関連した組織・開発の強化でコスト増加（+1.6億円）、ソリューション向けの調達コスト（+0.5億円）が発生

## ■ 来期に向けて

- 営業損益・CFの大幅改善を目指す
  - 人員強化は今期完了し、来期は既存組織・開発の選択と集中によるコスト最適化を実施
  - 今期すでに成果が出ているデジタルツインのソリューション等を中心に、短期成長する領域への注力を継続
- 事業拡大に向けて、ソリューション化における外部技術の利用拡大も含めて、より幅広い空間技術の提供を目指す

# 通期業績予想の修正 詳細

- 計画からの下振れに対応し、注力案件のリバランスを実施、来期以降の営業損益・CFの大幅改善を目指す



1. 顧客製品化した案件において、顧客製品の市場普及速度が想定を下回ったことによる売上減  
 2. 過去開示済みエネルギー設備向け案件は、公共施策の調整もあり遅延中であるものの、産業・物流設備など民間向けの案件の立ち上がりが順調であるため、デジタルツイン案件トータルでは想定以上の成長を達成  
 3. デジタルツインのソリューション向けの開発・販売強化を実施

4. デジタルツインや有人補助向けロボティクスへのシフトと、質の高い無人化ロボティクス案件への絞り込み  
 5. 今期想定の上の売上のうち、来期への延期となったもの  
 6. デジタルツインのソリューション向けの開発・販売強化にともなう人員の補強  
 7. デジタルツインのソリューション向けの外部パートナーシップに関連する調達

# 顧客製品化は順調に進捗し、売上はデジタルツインが牽引

- 事業進捗の指標となる顧客製品化と製品関連売上は予想通りに進み、当社技術の実用化が拡大中
- 短期的には、デジタルツインの市場普及が先行して売上成長を牽引し、ロボティクスは遅れ

顧客製品化と製品関連売上は前期比で順調に伸長

顧客製品化

[件]

製品関連売上

[億円]

23/3期

4

0.3

24/3期

4

2.7

25/3期

8  
(3Qまで)

1.8  
(3Qまで)

案件あたりではデジタルツインの伸びが加速し、先行して売上を牽引

売上比率

[%]

デジタルツイン    ロボティクス

24

76

36

64

62  
(通期見込)

38  
(通期見込)

「案件あたりの製品関連売上<sup>1</sup>」はデジタルツインがロボティクスの1.7倍と先行中

# 収益改善に向けて案件をリバランスし、短期売上の成長を後押し

- 短期に市場拡大を見込むデジタルツインとロボティクスの有人補助は、案件数を拡大し、ソリューション化に注力
- 社会実装までに期間を要するロボティクスの無人化は、「質の高い案件」を取捨選択して継続

人工知覚技術の応用領域	ソリューション例	市場の特性	案件リバランスの実施	ハイライト案件
デジタルツイン	<ul style="list-style-type: none"><li>3Dスキャン</li><li>空間・設備情報管理</li><li>設計・計画・シミュレーション</li><li>検査・メンテナンス</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>開発・実証・導入が早く、市場拡大が早期に実現見込み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市場拡大に合わせ案件数を拡大</li><li>案件規模拡大のためソリューション化<sup>1</sup>に追加投資</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>A 欧州産業向けアセットマネジメント</li></ul>
ロボティクス 有人補助	<ul style="list-style-type: none"><li>安全性強化</li><li>効率化・高機能化</li><li>特殊効果</li></ul>			<ul style="list-style-type: none"><li>B AR向けカメラロボット (FOX Sports社)</li><li>C フォークリフト効率化・安全性強化</li></ul>
無人化 <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>完全自律走行</li><li>完全自動運転</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>試験運用から技術普及まで期間を要す<sup>2</sup></li><li>大規模な潜在市場</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>スケールを見込める「質の高い案件」に取捨選択して継続</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ロボットタクシー</li><li>産業用搬送車両</li><li>鉄道用ドローン</li></ul>

1. 当社のディープテック（深層技術）を直接採用する顧客層だけではなく、協業先との事業コーディネートを通して最終顧客向けソリューションを構築すること

2. 2D技術で実用可能な比較的難易度の低いロボット（配膳ロボットなど）の次の世代として、巨大市場への普及が見込まれている比較的難易度の高い無人化ロボティクス

# ハイライト案件 A：欧州産業向けアセットマネジメント（1/2）

- 産業・物流設備向けへの需要を取り込み、欧州での大規模案件に向けて進捗<sup>1</sup>
- ソリューションの基幹技術となる次世代デジタルツイン技術をXGRIDS社と開発

## 「デジタル・アセット・マネジメント・ソリューション」

次世代デジタルツイン技術によるデータ生成

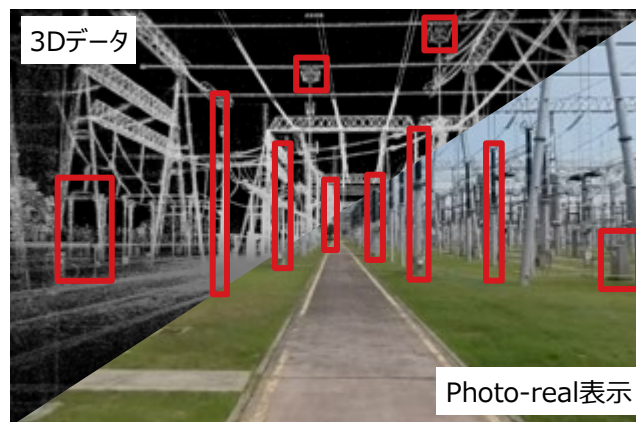
迅速な空間データ取得

3Dスキャナー



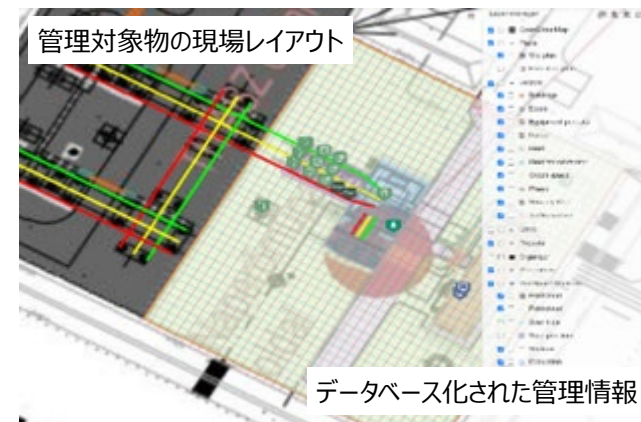
AIによる管理対象物の自動認識と登録

3Dデータ



データベース化と効率的な管理ツール

管理対象物の現場レイアウト



一元化する  
管理業務DX

設備台帳  
管理

図書管理

設備  
ビューア

部品在庫  
管理

保全計画/  
履歴管理

検索/集計/  
分析ツール

作業指示  
管理

作業工数  
管理

付加価値

データ生成効率：20倍

データ検索効率：5倍

業務遠隔化の実現

管理効率・設備稼働率の向上

1. 過去開示済みエネルギー設備向け案件は、公共施策の調整もあり遅延中であるものの、産業・物流設備向けの案件の立ち上がりが順調であるため、デジタルツイン案件トータルでは想定以上の成長を達成



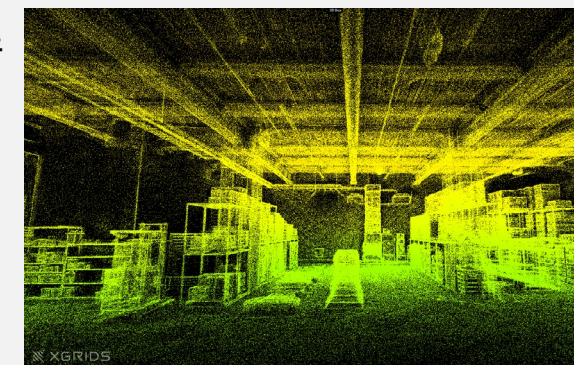
- 多産業向けサービスプロバイダの世界大手と戦略的業務提携を締結
- AIとフォトリアルな3Dデジタルツインで革新的な設備資産管理を実現し、提携先のDX化を飛躍的に加速

## 提携先の概要

- 4万人以上の従業員と40億ユーロの売上を擁する多産業向けのサービスソリューションを提供する世界大手企業
- 35カ国以上で事業を展開し、大手産業・物流・公共・商業施設を含む5000社以上の顧客施設・不動産を管理
- これまでデジタルトランスフォーメーションに取り組んでおり、先進的なソリューションのサービス実装を強化する計画

## 戦略的業務提携の内容

- 当社ソリューションによって、提携先が管理する施設のデジタルトランスフォーメーションを目指す
- 当社が提供するフォトリアルデジタルツイン技術を活用した精密でリアルな3Dデジタル複製に加え、AIによる空間認識技術が従来作業を自動化し資産管理を効率化
- 実施済のパイロットプロジェクトでは、資産データの精度、業務効率、データ信頼性の大幅向上を示す成果を達成



# ハイライト案件 B : AR向けロボットカメラ (FOX Sports社)

- スポーツ放送向けのロボットカメラ (有人操作) の位置認識に採用、革新的なAR映像による視聴体験を実現
- 高速カメラワークに追従可能な随一の技術を認められ、世界最大規模イベント「Super Bowl」にて実用化

## 独自技術を有人操作ロボットの特殊効果に活用



- AR向けワイヤーロボットカメラにLiDARセンサを搭載し、当社技術によってカメラ位置を認識
- 従来では実現できなかった高速・広域・ダイナミックなカメラワークでの高精度の認識を実現

## 革新的な視聴体験とコンテンツ価値の向上を実現



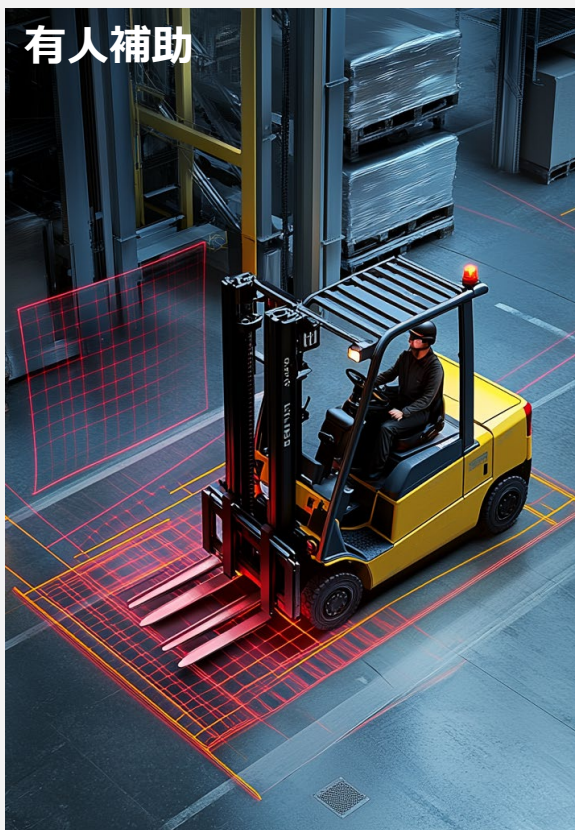
- 迫力のあるAR映像を精緻でスムーズに生成
- 1.4億人視聴した「Super Bowl LIX」に採用
- オープニングから試合解説まで多くの場面で活用
- 今後も大規模イベントでの実用化拡大を目指す



# ハイライト案件 ③：フォークリフト効率化・安全性強化

- 現場導入の難易度が低く、早期の技術普及が見込める有人フォークリフト補助として運用効率化と安全性強化向けに注力を強化<sup>1</sup>、日本大手・欧州大手を中心として案件が拡大、短期収益化を目指す

## 有人補助



## 運用効率化

- 作業空間内でのフォークリフトの運用軌道・動作のリアルタイム把握により、オペレーション全体の作業効率を向上

## 安全性強化

- フォークリフトの自己位置・環境状況・障害物を認識することで、事故発生を回避する運転支援を提供

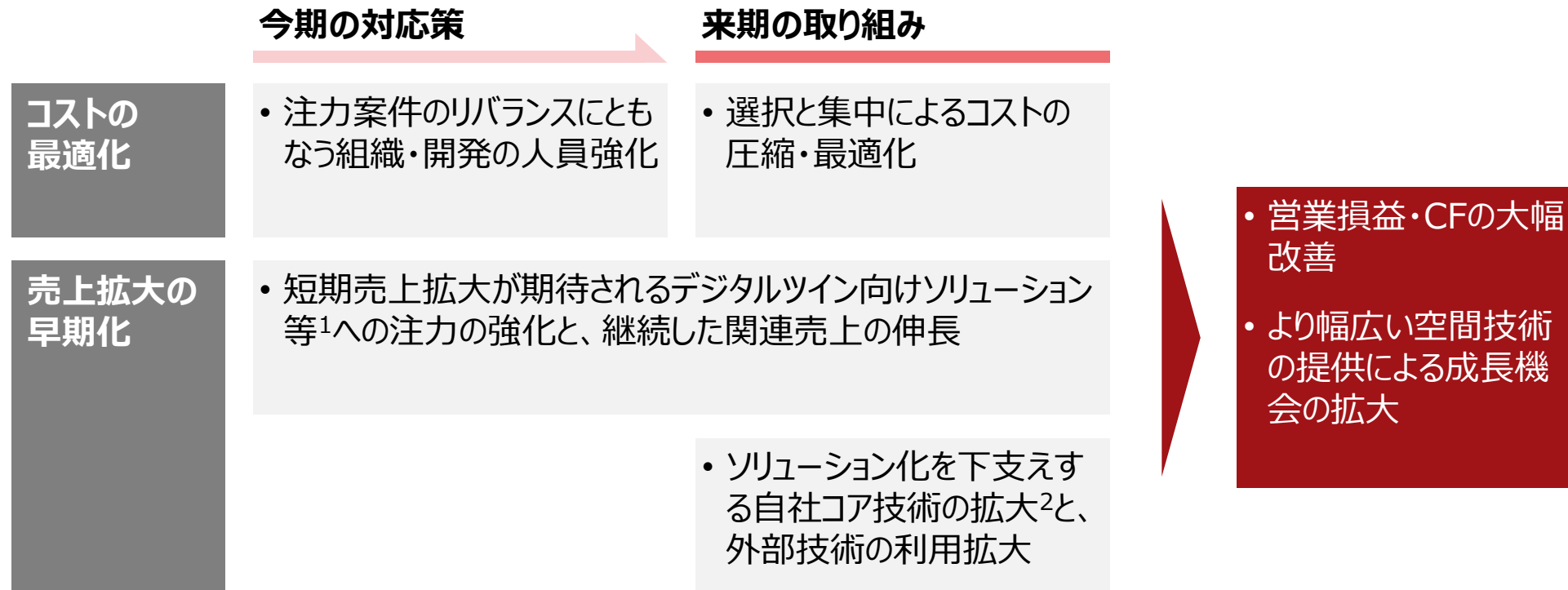
## 完全無人化

- 効率的かつ安全なフォークリフト運用の自動化を実現し、省人化・無人化によってトータルコストを削減

## 無人化



- 既存組織・開発の選択と集中によるコスト最適化と、デジタルツイン向けソリューションを中心とした売上拡大の早期化に注力し、営業損益・CFの大幅改善を目指す
- 自社コア技術を最大活用できるソリューション化に向けて、外部技術の利用拡大も含めたより幅広い空間技術の提供を目指す



1. デジタルツイン向けソリューションを中心に、有人補助向けロボティクス等を含む短期的に市場普及が期待される応用先

2. 人工知覚を中心に、人工知能技術を加えたデジタルツインやロボティクス向け技術（フォトリアルデジタルツインやセマンティックデジタルツイン等を含む）

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。

すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、現時点において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等 について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。



**Eyes to the all machines**

<https://www.kudan.io/>

<https://www.youtube.com/user/KudanLimited/featured>